

人間社会学部／社会福祉コース	職名	教授	氏名	住友雄資
----------------	----	----	----	------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

厚生労働省の発表によると、わが国には300万人を超える精神障害者がいます。精神科病院に入院している精神障害者は約35万人ですので、大多数は地域で生活しています。しかし、差別・偏見を受けやすい精神障害者や家族は、地域で生活しづらい状況が続いています。そこで、ソーシャルワークの視点から、精神障害者が地域で生活しやすい援助・支援法の開発とそれを下支えする社会環境を構築する方法を研究しています。そのためにはケアマネジメントという技術とケアマネジメントが有効に機能するシステムが不可欠で、両者を統合した地域サポートシステムを構築する研究をおこなっています。

またケアマネジメントを担う福祉専門職が必要になりますので、その観点から精神保健福祉士等をどのように養成するかということも研究しています。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

山崎めぐみ・住友雄資 (2018) 「精神科病院の精神保健福祉士が行う退院支援に関する研究動向と課題—長期入院の精神障害者に対する取り組みに着目して—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』26 (2) , 55-69.

新海朋子・住友雄資 (2018) 「精神障害をもつ人のリカバリー概念に関する文献検討」『福岡県立大学人間社会学部紀要』26 (2) , 71-85.

林志帆・住友雄資 (2016) 「精神障害者のきょうだいへの支援—精神保健福祉士による支援内容から—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』24 (2) , 21-36.

### ②その他最近の業績

(事例研究)

白石裕香・住友雄資 (2019) 「メンタルヘルス問題のある母親への支援—ACTによるチーム支援—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』27(2), 59-73.

(学会報告)

鈴木孝典・岩崎香・大塚淳子・松本すみ子・大谷京子・松浦智和・石田賢哉・越智あゆみ・住友雄資・石川到覚 (2016) 「精神科医療機関における精神保健福祉士の配置と長期入院患者の動向との関連」『日本精神保健福祉学会第5回学術研究集会要旨集』(沖縄大学), 2016年6月24日.

(教育実践報告)

住友雄資・鬼塚香 (2019) 「記録の演習法—2018年度『精神保健福祉演習』の試みから—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』27(2), 169-179.

鬼塚香・住友雄資 (2019) 「2018年度『精神保健福祉演習』—反転授業, アクティブラーニング・チーム・ティーチングの試み—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』27(2), 157-168.

畑香理・住友雄資・奥村賢一・平川明美・浦田愛 (2018) 「2017年度教育実践報告: 『精神保健福祉援助実習指導』・『精神保健福祉援助実習指導』—実習連絡協議会における意見を踏まえた取り組みを中心に—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』27(1), 127-135.

畑香理・住友雄資・奥村賢一・平林恵美・平川明美 (2017) 「2016年度教育実践報告: 『精神保健福祉援助実習指導』・『精神保健福祉援助実習指導』—事前学習の充実と実習報告会に向けた取り組みについて—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』26(1), 85-95.

畑香理・住友雄資・平林恵美・奥村賢一・平川明美 (2016) 「2015年度教育実践報告: 『精神保健福祉援助実習』・『精神保健福祉援助実習指導』—新カリキュラム完成年度の取り組みについて—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』25(1), 81-90.

(用語解説)

住友雄資 (2018) 「社会関係」『精神保健福祉学の重要な概念・用語の表記のあり方に関する調査研究 平成29年度報告書』日本精神保健福祉学会, 106-107.

住友雄資 (2018) 「スーパービジョン」『精神保健福祉学の重要な概念・用語の表記のあり方に関する調査研究 平成29年度報告書』日本精神保健福祉学会, 129.

住友雄資 (2018) 「フェイスシート」『精神保健福祉学の重要な概念・用語の表記のあり方に関する調査研究 平成29年度報告書』日本精神保健福祉学会, 188-189.

住友雄資 (2018) 「防衛機制」『精神保健福祉学の重要な概念・用語の表記のあり方に関する調査研究 平成29年度報告書』日本精神保健福祉学会, 191.

### ③過去の主要業績

住友雄資 (2007) 『精神保健福祉士のための地域生活支援活動モデル』金剛出版.  
(単著)

杉本敏夫・住友雄資編 (2006) 『改訂 新しいソーシャルワーク』中央法規出版.  
(共編著)

住友雄資 (2001) 『精神科ソーシャルワーク』中央法規出版. (単著)

## 3. 外部研究資金

## 4. 受賞

## 5. 所属学会

一般社団法人日本社会福祉学会 代議員・査読委員  
日本精神障害者リハビリテーション学会 査読委員  
日本ソーシャルワーク学会・査読委員  
日本職業リハビリテーション学会  
日本地域福祉学会  
一般社団法人日本精神保健福祉学会

## 6. 担当授業科目

(学部)

精神保健福祉相談援助の基盤(専門)・2単位・2年・前期, 精神科リハビリテーション学Ⅱ・2単位・3年・後期, 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ・2単位・3年・後期, 精神保健福祉演習・1単位・3年・前期, 精神保健福祉援助演習・2単位・3～4年・通年, 精神保健福祉援助実習指導・3単位・3～4年・通年, 精神保健福祉援助実習・5単位・4年・通年, 卒業論文・6単位・4年・後期

(大学院)

社会福祉研究法・2単位・前期, 質的研究法・1単位・前期, 精神保健福祉研究・2単位・前期, 特別研究・4単位・通年

## 7. 社会貢献活動

直方市障害者施策推進協議会 会長  
田川市障害者総合自立支援協議会 会長

## 8. 学外講義・講演

## 9. 附属研究所の活動等

生涯福祉研究センター・センター長